

海外観光サポートデスク活動報告会およびマーケティング報告会を開催しました
(2019年6月26日)

6月26日に仙台国際センターにおいて「海外観光サポートデスク報告会およびマーケティング報告会」を開催し、自治体や民間の観光関係者ら約130名の方々にご参加いただきました。

①アセアン観光サポートデスク報告

タイ、シンガポール、マレーシア等東南アジア6市場の市場トレンドや情報収集・プロモーションの成果について、昨年度サポートデスク業務受託者である株式会社アジアクリックの高橋氏より報告を行いました。

国ごとに文化や経済発展の状況が大きく異なる東南アジアの各市場に対しては、それぞれの市場のトレンド（個人旅行と団体旅行のどちらが主体か等）に合わせてプロモーションすることや、その国に合った受入態勢整備（ムスリム対応等）が重要であること等について説明しました。

また、今年度よりサポートデスク業務受託者が新たに株式会社Relationに変更となることから、同社の担当者を報告会出席者の皆様にご紹介しました。



【アセアン観光サポートデスク報告】

②中国観光サポートデスク報告

中国の訪日マーケットの概要や、中国人旅行者のトレンド、サポートデスクの2019年度の取組方針等について中国観光サポートデスクの倉本氏および趙（ちょう）氏より報告を行いました。

中国では、日本が海外旅行先の人気上位となっていますが、中国人旅行者の特徴として、親子旅行やスキー・雪遊び等のニーズが高まっていること、また、生活面では、スマホアプリが生活の中心になるとともに、モバイル決済が当たり前の状況になっており、受入にあたっては、こうしたツールの活用が効果的であること等について説明しました。

今後もサポートデスクを通じて、WeiboやWeChat等、中国特有のSNSも含めて活用しながら、東北の情報発信や誘客促進を図っていきます。



【中国観光サポートデスク報告】

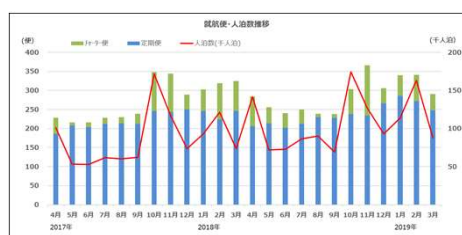
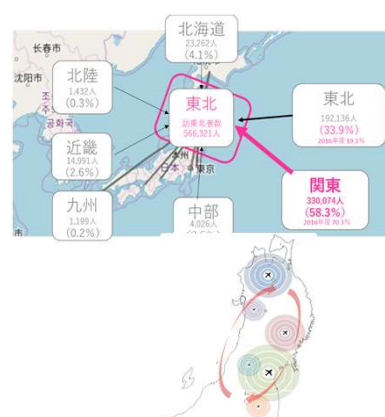
③マーケティング報告会

東北の現状および各市場における東観推の取組みを踏まえつつ、域内の観光マーケティングの取組みについて事業企画部の毛利および齋藤より報告を行いました。

訪東北外国人旅行者の主な動向については、仙台国際空港をゲートウェイとした広域周遊が徐々に定着している傾向が伺え、東北広域で捉えた誘客促進への取り組みが重要であること等について説明しました。

また、モバイル空間統計を活用した分析については、各県の主要な観光地において外国人旅行者が前年に比べ増加している傾向が見られ、参加者からは、「肌感覚だけでなく、数字で見ることにより、現場の課題把握ができた」「マーケティングデータの重要性や、活用について具体的なプロモーションが想起できた」等の声が寄せられました。

今後多角的にマーケティングを継続して行い、広域データと地域データを組み合わせることで、域内DMOの誘客の方針についても見えてくることから、域内DMOとの連携を深め、データを有効的に活用すると共に更なる分析と活用を進めてまいります。

[illegible]

東北観光推進機構会員様はホームページ（「資料ダウンロード」）よりマーケティング報告書（全編版）をご覧ください。

タイの観光関係者と意見交換を行いました（2019年6月15日）

6月14日～16日にタイ・バンコクで開催された日本イベントである「TOYOTSU JAPAN FESTIVAL」に合わせてタイを訪問しました。同イベントのオープニングで開催されたタイ国際航空バンコク～仙台便の就航記者会見に参加したほか、タイ国政府観光庁（TAT）やタイ国際航空（TG）本社、在タイ王国日本国大使館等関係機関を訪問し、今後のタイにおける東北のプロモーションについて意見交換等を行いました。



【仙台便就航発表記者会見】



【TAT副総裁との会見】

タイと東北を結ぶ直行便の就航が発表されるタイミングということもあり、現地関係機関への訪問でも東北への高い期待・関心を示していただきました。

直行便の就航を弾みに、タイをはじめ東南アジアから東北へのさらなる集客に取り組んでまいります。



【TG副社長との意見交換】

台湾において現地セミナー等を実施しました（2019年6月6日～7日）

台湾・台北市内において、訪日ボリューム層である20～40代女性を対象としたセミナーを実施しました。

セミナーでは、「東北の夏」の情報発信を行いました。

昨年度のマーケティング調査の結果、観光コンテンツを紹介する際には、「グルメ」、「体験」、「家族と一緒に楽しむ」の要素を加えると、更に訴求効果があがることが分かったので、上記要素を加えた内容でセミナーを行いました。

セミナーにおいて、最も反応が良かったのは「農泊・民泊」についての紹介であったことから、この分野は今後更なる成長が見込まれることが分かりました。

ゲストとしてパワーブロガーであるChoyce氏にご自身の過去の東北旅行の経験を踏まえながら講演いただきました。お子様と一緒に東北各地を旅行されているため、来場した方々にも親和性の高い講演となりました。

また、台湾のLCC航空会社であるタイガーエアにもお越しいただき、台北～仙台をはじめとした路線紹介やキャンペーン紹介をしていただきました。

セミナー前日は各県の在台湾コーディネーター等関係機関を訪問し、東観推の活動を説明してまいりました。



【会場全景】



【セミナーの様子】

台湾メディアを招請しました（2019年6月21日～26日）

6月21日から26日にかけて台湾のLCC航空会社タイガーエアのメディアを招請し、「東北の夏」に関する観光地を取材していただきました。

6月7日に現地で行ったセミナーにて紹介した観光地を中心に取材いただくことで、現地目線の効果的な情報発信を目的としました。

フルーツ狩りや工芸品の絵付け体験などのコンテンツが人気であるとともに、天童市内の将棋駒の置物など、日本人では見過ごしてしまうような街の風景にとっても関心を持っていただきました。

ご協力いただいた宿泊施設においても、インバウンドに対する取り組みを積極的に実施されていました。例を挙げますと、宿泊施設周辺の地域に出発して夕食を取っていただけるような宿泊パックの用意、施設内で夜遅くまで楽しんでいただけるようビリヤードやシミュレーションゴルフ施設の設置等、各地域で工夫されているコンテンツを取材していただくことができました。

今回の取材の効果測定については、どのような層に見てもらえたか分析し、今後の施策に活かせるよう取り組んでまいります。



【フルーツ狩り】



【絵付け体験】

第四期フェニックス塾入塾式・第1回塾を開催しました（2019年6月27日）

宮城県仙台市ホテルメトロポリタン仙台において、第四期フェニックス塾の入塾式及び第1回塾を開催しました。

入塾式においては小縣会長から塾生代表へ入塾証書を授与しました。

その後、塾生代表として一般社団法人秋田犬ツーリズムの阿部克也さんより、DMOとしての活動内容とフェニックス塾参加に対する意気込みを発表していただきました。

その後、小縣会長が「観光の力によって東北の震災からの復興と活性化を図り、さらに魅力と活力ある東北をつくりあげていくためにも、『オール東北』として力を集結していくことが必要である。」と激励の挨拶を行いました。

続いて開催した第1回塾では、小縣会長が「観光で東北の魅力を世界に発信」と題してインバウンドの消費動向等をデータに基づき分析することの重要性等について講演を行いました。続いて、紺野専務が「東北観光の現状と課題『東北観光推進機構の取り組み』」と題して、東北の現状と東観推の取組みを説明しました。

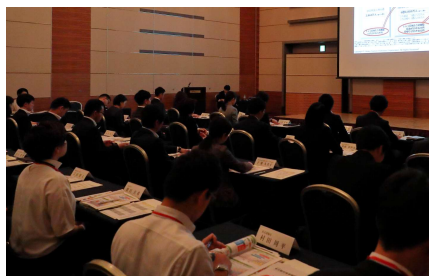
フェニックス塾は今年度も、東北の観光にかかわる官、民、業種を超えた実務者層を対象にセミナーやワークショップ等の開催を通して、オール東北の観点から東北の観光振興策を企画・立案する構想力と実行する行動力を持った人材を育成のための活動を実施してまいります。



【小縣会長講演】



【紺野専務講演】



【講演の様子】



【入塾表授与】



【フェニックス塾第四期生】

タイ国政府観光庁と「東北絆まつり2019福島」を視察しました（2019年6月1日）

タイにおける重要な連携先であるタイ国政府観光庁と東観推は、「観光に関する相互協力協定」を締結しています。タイ国政府観光庁より、東アジア局長のティティポーン・マニーネート氏をお招きし、6月1日に福島市で開催された「東北絆まつり2019福島」を視察していただきました。

ティティポーン局長には、絆まつりの開祭式にご出席いただいたほか、パレード等を観覧いただき、東北の誇る6つの祭りの魅力を体験していただきました。

10月末にタイ・バンコクと仙台を結ぶ国際定期便が就航することを踏まえ、今後もタイと東北の相互交流拡大に向けた取組を進めてまいります。



【絆まつり開祭式】

※「東北絆まつり」とは

東日本大震災の犠牲者への鎮魂と震災からの早期復興を願い、東北6県の県庁所在都市の夏祭りが一堂に会する「東北六魂祭」として2011年に仙台市で初開催。2017年より新たに「東北絆まつり」としてスタートし、今年の福島市での開催が3回目となります。来年は山形市での開催が予定されています。



【東北六市長と記念撮影】

令和元年度第1回地域経済動向専門家会議に出席しました（2019年6月20日）

宮城県仙台市で開催された開催内閣府主催令和元年度第1回地域経済動向専門家会議において、紺野専務が訪東北外国人旅行者の動向等東北広域連携の現状を通して、観光業界の動向や今後の見通しについて説明を行いました。

今後開催予定のセミナー

フェニックス塾

<第2回フェニックス塾（第一部セミナー）>

【日時】2019年7月18日（木）

13:00～14:30

【会場】ザ・セレクトン福島

【内容】

「震災からの復興と東北一体となって取組む観光」

【講師】原口幸氏

（株）ジェイアール東日本企画 代表取締役社長）

【詳細・申込】

どなたでもご聴講できます（無料）

下記URLよりアクセスし、申込フォーマットにより必要事項を入力し、送信してください。

<https://www.phoenix-school.com/index.html>

<第3回フェニックス塾（第一部セミナー）>

【日時】2019年9月19日（木）

【会場】酒田勤労者福祉センター

※ 詳細は、今後東観推HPにてお知らせします。

東北教育旅行セミナー

【日時】2019年7月25日（木）

【会場】東京都 グランドプリンスホテル新高輪

【内容】

- ・東北へ実際に教育旅行を実施した高等学校様による事例発表
- ・東北教育旅行プレゼンテーション（東北6県と新潟県によるプレゼン）
- ・教育旅行相談会

【詳細・申込】

下記URLをご覧ください。

<https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>



東北教育旅行誘致部会

今後出展予定の海外旅行博、開催予定の海外イベント

・タイトップセールス事業：2019年8月27日（火）

訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や、情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるといった外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が**日本全体の1%程度**と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様の協力が必要です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします

● 口コミサイトへの「管理者（オーナー）登録」のススメ & 【トリップアドバイザー】のオーナー登録手順

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2019/01/tripadvisor.pdf>

● 中華系口コミサイト【大衆点评】登録サポート（無料）のお知らせ

<https://member.tohokukanko.jp/wp-content/uploads/2018/10/dianpin-support.pdf>



東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。
申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.010 2019年7月12日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！